

ボリューム ライセンス リファレンス ガイド

System Center 2012 R2



概要

このガイドでは、マイクロソフト ボリューム ライセンスのお客様を対象に、マイクロソフト ボリューム ライセンス プログラムを通じて Microsoft System Center 2012 R2 のライセンスを取得する方法について説明します。この 2015 年 8 月発行の改訂版では、2013 年 11 月発行の旧版の製品条項と ECAL スイートの内容が更新されています。

このガイドは情報提供を目的としており、System Center 2012 R2 のライセンスに関するその他のドキュメントより優先されるものでも、これらのドキュメントに代わるものでもありません。特定の製品ライセンス条項については、製品の小売ソフトウェアライセンス条項、マイクロソフト ボリューム ライセンス契約、[マイクロソフト ボリューム ライセンス製品条項](#)に定義されています。

最新版のガイドの情報など、詳細については、マイクロソフト ライセンス Web サイト (<http://www.microsoft.com/ja-jp/licensing/product-licensing/system-center-2012-r2.aspx>) を参照してください。

目次

製品の概要	2
プライベート クラウドとデータセンターの管理	2
クライアントの管理	2
ライセンスの概要	2
管理対象サーバーのライセンス	2
サーバー ML のエディション比較	3
必要なライセンス数の決定	3
新しいサーバー ライセンス モデルへの移行	4
管理対象クライアントのライセンス	4
新しいクライアント ライセンス モデルへの移行	5
System Center 2012 R2 の導入計画	5
ソフトウェア アシュアランス特典	5
ソフトウェア アシュアランスに OEM ライセンスを追加	6
ボリューム ライセンス プログラムを通じて入手可能なライセンス	6
ボリューム ライセンス認証	6
よく寄せられる質問 (FAQ)	7
詳細情報	9

System Center 2012 R2 ライセンス ガイド

製品の概要

Microsoft System Center 2012 R2 は、データセンター リソース、プライベート クラウド、クライアント デバイスを管理するためのソリューションを提供します。

プライベート クラウドとデータセンターの管理

System Center 2012 R2 では次の特長を活かして、IT as a Service (サービスとしての IT) を実現することができます。

- ▶ **生産性の高いインフラストラクチャ:** 柔軟かつコスト効率に優れたプライベート クラウド インフラストラクチャを構築して、組織の各部門にセルフサービス モデルで提供できると同時に、既存のデータセンターへの投資も無駄なく活用できます。
- ▶ **予測可能なアプリケーション:** 詳細なアプリケーション分析と「サービス中心」のアプローチによって、予測可能なアプリケーション サービス レベルを実現します。
- ▶ **組織のニーズに合ったクラウド コンピューティング:** 組織のハイブリッド環境全体にわたり、共通の方法で管理可能なプライベート/パブリック クラウド コンピューティングを提供、活用することができます。

クライアントの管理

System Center 2012 R2 は、生産性の維持に欠かせないデバイスやアプリケーションをお使いの IT ユーザーを支援すると同時に、企業のコンプライアンスとコントロールを維持できます。

ライセンスの概要

System Center 2012 ライセンスには、次の特長があります。

- ▶ **ライセンスが必要なのは、管理対象のエンドポイントのみ。** 管理サーバーや SQL Server テクノロジーを利用するために、追加ライセンスは不要です。
- ▶ **エディション間で一貫性のあるライセンス モデル。** プロセッサ ベースのライセンスです。サーバー管理用として、最大 2 基のプロセッサに対してライセンスを適用できます。クライアント管理用には、ユーザー ベースまたは OSE ベースのライセンスを適用します。

管理対象サーバーのライセンス

System Center 2012 R2 サーバー管理ライセンスは、プライベート クラウドの価値を最大化しながら、シンプルな購入を可能にします。どのサーバー管理ライセンス (SML) に含まれるコンポーネントとワークロード管理機能も、すべて同じものです。System Center 2012 R2 SML には、仮想化の権利のみが異なる以下の 2 つのエディションがあります。

- ▶ **Microsoft System Center 2012 R2 Datacenter:** 無制限の仮想化でクラウドの容量を最大限に活用し、高密度のプライベート クラウドを実現します。
- ▶ **Microsoft System Center 2012 R2 Standard:** 仮想化の比率が低い、または仮想化されていないプライベート クラウドのワークロード向けです。

System Center 2012 R2 ライセンス ガイド

含まれるコンポーネント

- ▶ Operations Manager
- ▶ Configuration Manager
- ▶ Data Protection Manager
- ▶ Service Manager
- ▶ Virtual Machine Manager
- ▶ Endpoint Protection
- ▶ Orchestrator
- ▶ App Controller

サーバー ML のエディション比較

	Datacenter	Standard
ライセンスでカバーされる物理プロセッサ数	2	2
ライセンスでカバーされる管理対象のオペレーティング システム環境 (OSE) の数	無制限	2
すべての System Center サーバー管理コンポーネントを含む	☑	☑
管理サーバー ソフトウェアおよび SQL Server Runtime (SQL Server Standard エディション) を実行する権限	☑	☑
サポートされているあらゆる種類のワークロードを管理	☑	☑
2 年間のソフトウェア アシュアランス (L&SA) 付き Open NL ライセンスの価格*	3,607 米ドル	1,323 米ドル

*推定小売価格。実際の価格は販売代理店が設定します。

メモ: サーバー ML に含まれるコンポーネントを別途入手することはできません。

必要なライセンス数の決定

サーバー OSE を実行する管理対象デバイスごとにサーバー ML が必要です。ライセンスはプロセッサ ベースで、各ライセンスが最大 2 基の物理プロセッサに対応します。Datacenter エディションの場合、管理対象サーバーごとに必要なサーバー ML の数は、サーバー内の物理プロセッサ数によって決まります。Standard エディションの場合、サーバー内の物理プロセッサ数と管理対象の OSE の数のどちらが多いほうになります。Standard サーバー ML を選択した場合、サーバーにライセンスを追加することによって、より多くの仮想 OSE を管理することができます。

使用例	必要な Datacenter サーバー ML 数	必要な Standard サーバー ML 数
仮想化されていない 1 プロセッサ サーバー x 1	1	1
仮想化されていない 4 プロセッサ サーバー x 1	2	2
3 つの仮想 OSE が稼働する 2 プロセッサ サーバー x 1	1	2
8 つの仮想 OSE が稼働する 4 プロセッサ サーバー x 1	2	4

System Center 2012 R2 ライセンス ガイド

同じサーバーに複数の System Center 2012 R2 Standard ライセンスを割り当てることにより、複数の管理対象 OSE にライセンスを付与することができます。サーバー ML に含まれるコンポーネントを別途入手することはできません。

パブリック クラウド プラットフォームで稼働する管理対象 OSE にライセンスを付与する柔軟性

有効なソフトウェア アシュアランス付きのすべての System Center 2012 R2 サーバー管理ライセンスは、ソフトウェア アシュアランスによるライセンス モビリティ特典の対象となります。ソフトウェア アシュアランスによるライセンス モビリティ特典を利用して、サーバー ML を割り当て、パブリック クラウド インフラストラクチャで稼働するアプリケーションを管理することができます。

詳細については、[ソフトウェア アシュアランスによるライセンス モビリティ](#)を参照してください。

新しいサーバー ライセンス モデルへの移行

現在ご利用の System Center ライセンスにソフトウェア アシュアランスが付属している場合、System Center 2012 R2 の一般提供時に次の System Center 2012 R2 サーバー ML への移行の対象となります。

現在のライセンス	新しいライセンス
System Center 2012 Datacenter サーバー ML	System Center 2012 R2 Datacenter サーバー ML
System Center 2012 Standard サーバー ML	System Center 2012 R2 Standard サーバー ML

メモ: System Center 2012 R2 Standard から System Center 2012 R2 Datacenter に移行する場合は、ステップアップ ライセンスを購入できます。

管理対象クライアントのライセンス

非サーバー OSE を実行する管理対象デバイスには、クライアント管理ライセンス (ML) が必要です。System Center 2012 R2 クライアント ML には、次の 3 種類があります。

	Configuration Manager クライアント ML	Endpoint Protection サブスクリプション	Client Management Suite クライアント ML
含まれるコンポーネント	Configuration Manager	Endpoint Protection	Service Manager Operations Manager Data Protection Manager Orchestrator
Core CAL Suite に付属	☑	☑	
Enterprise CAL Suite に付属	☑	☑	
2 年間の L&SA 付き Open NL の価格*	62 米ドル	22 米ドル	121 米ドル

*推定小売価格。実際の価格は販売代理店が設定します。

メモ:

- ▶ クライアント ML は OSE 単位またはユーザー単位で購入できます。
- ▶ クライアント ML に含まれるコンポーネントを別途入手することはできません。

System Center 2012 R2 ライセンス ガイド

新しいクライアント ライセンス モデルへの移行

現在ご利用の System Center ライセンスにソフトウェア アシユアランスが付属している場合、System Center 2012 R2 の一般提供時に次の System Center 2012 R2 クライアント ML への移行の対象となります。

現在のライセンス	新しいライセンス
System Center 2012 Client Management Suite クライアント ML	System Center 2012 R2 Client Management Suite クライアント ML
System Center 2012 Configuration Manager クライアント ML	System Center 2012 R2 Configuration Manager クライアント ML
System Center 2012 Endpoint Protection サブスクリプション	System Center 2012 R2 Endpoint Protection サブスクリプション

メモ: クライアント ML のステップアップ パスはありません。

System Center 2012 R2 の導入計画

ライセンスをアップグレードするか、新規ライセンスで取得して、System Center 2012 R2 を導入しようと計画されている場合は、以下の点をご確認ください。

- ▶ 既存の投資を保護しながら、最新バージョンのツールを利用できるようにするには、ソフトウェア アシユアランスを更新することをお勧めします。ソフトウェア アシユアランスの更新により、導入計画サービスと技術サポートを引き続き受けることもできます。
- ▶ 仮想化の権利の必要性を考慮して、System Center 2012 R2 のどちらのエディションが必要かを検討してください。
 - ▶ Datacenter エディション - 高度に仮想化されたプライベート クラウド向け
 - ▶ Standard エディション - 仮想化の比率が低いまたは仮想化されていないプライベート クラウド向け
- ▶ クライアント管理製品を購入される場合は、最もコスト効率の高い Core CAL スイートおよび Enterprise CAL スイートを引き続きご利用ください。
- ▶ 支払い方法は柔軟に選択できるため、予算の範囲で必要な IT 資産を購入できます。支払いプログラムの詳細については、<http://www.microsoft.com/ja-jp/licensing/how-to-buy/financing.aspx> を参照してください。米国、カナダ在住のお客様は、Microsoft Solution Partner まで直接、またはお電話 ((800) 936-3500) でお問い合わせください。

ソフトウェア アシユアランス特典

有効なソフトウェア アシユアランスをお持ちでマイクロソフト ポリリューム ライセンスをご利用のお客様は、ソフトウェア アシユアランスに含まれる新バージョンのソフトウェアへのアップグレードの権利や、展開および生産性に役立つさまざまな特典を活用して、生産性をよりいっそう高めることができます。

System Center のソフトウェア アシユアランスで提供される特典の一部を以下にご紹介します。

- ▶ **アップグレードの権利:** ソフトウェア アシユアランスの対象となっているライセンスは、その最新バージョンが利用可能になった時点でアップグレードすることができます。
- ▶ **展開計画サービス:** 認定パートナーや Microsoft サービスからきめ細かな展開計画サービスを受けることができます。
- ▶ **ステップアップ ライセンス:** 有効なソフトウェア アシユアランスをお持ちのお客様は、下位エディションのライセンスを上位エディションのライセンスに移行することができます (例: System Center 2012 R2 Standard ML から System Center 2012 R2 Datacenter ML へ移行)。なお、この移行のためには、上位エディションのソフトウェアの価格から、下位エディションのソフトウェアとソフトウェア アシユアランスの価格を引いた差額を支払う必要があります。
- ▶ **年中無休 (24 x 7) の技術サポート:** 電話と Web による 24 時間対応のインシデント サポートにより、ダウンタイムとサポート コストを抑えることができます。
- ▶ **エンタープライズ ソース コード ライセンス プログラム:** システム プール内に、有効なソフトウェア アシユアランスの対象となるライセンスされたデスクトップ PC が 1,500 台以上ある場合、社内での開発およびサポート目的で Microsoft Windows のクライアントおよびサーバー ソース コードにアクセスすることができます。

System Center 2012 R2 ライセンス ガイド

ソフトウェア アシユアランス特典の利用資格は、ボリューム ライセンス プログラムの種類 (Enterprise Agreement や Open Value Agreement など)、およびソフトウェア アシユアランスが適用される対象ライセンスの数によって決まります。詳細については、[ソフトウェア アシユアランスの概要](#)を参照してください。

ソフトウェア アシユアランスに OEM ライセンスを追加

ソフトウェア アシユアランスは、最新バージョン* である Windows Server 2012 R2 に対して適用できます。ソフトウェア アシユアランスはライセンスの購入後 90 日以内に入手する必要があります (詳細については、[マイクロソフト ボリューム ライセンスの製品条項](#)を参照してください)。OEM ライセンス用にソフトウェア アシユアランスを取得した場合、ソフトウェアはその製品の製品条項および組織のボリューム ライセンス契約の条件に従って使用するものとします。

*最新バージョンとは、ボリューム ライセンス サービス センターで入手可能な最新バージョンのことです。

ボリューム ライセンス プログラムを通じて入手可能なライセンス

Windows Server 2012 R2 の各エディションのライセンスは、次のマイクロソフト ボリューム ライセンス プログラムを通じて入手できます。

エディション	ボリューム ライセンス プログラム				
	Enterprise Agreement (および Subscription)	マイクロソフト 製品/サービス 契約 (MPSA)*	Open Value (および Subscription)	Open License	Enrollment for Education Solutions (EES)
Datacenter ML	●	●	●	●	●
Standard ML	●	●	●	●	●
Client Management Suite クライアント ML	●	●	●	●	●
Configuration Manager クライアント ML	●	●	●	●	●
Endpoint Protection サブスクリプション	●	●	●	●	●

*2015 年 7 月 1 日以降、一般企業のお客様は Select Plus 契約をご購入いただけなくなります。ただし、既存の Select Plus 契約を通じた購入は 2016 年 7 月 1 日まで引き続き可能です。Select Plus 契約はマイクロソフト製品/サービス契約 (MPSA) に移行されます。MPSA では契約の構造、柔軟性、購入のしやすさが改善されるだけでなく、新しい資産管理用のシステムとツールも提供されます。詳細については、<http://www.microsoft.com/ja-jp/licensing/licensing-programs/select.aspx#tab=4> を参照してください。

ボリューム ライセンス認証

組織のボリューム ソフトウェア ライセンスの展開および管理の設定タスクを簡素化するさまざまなテクノロジーを利用できます。たとえば、次のものがあります。

- ▶ **ボリューム ライセンス認証サービス サーバー ロール:** ボリューム ライセンス認証サービスは、Windows Server 2012 以降のエディションのサーバー ロールです。さまざまなシナリオや環境で、マイクロソフト ソフトウェア ボリューム ライセンスの発行、管理を自動化し、簡素化することができます。ボリューム ライセンス認証サービスを使用すれば、キー管理サービス (KMS) のインストールおよび設定と、Active Directory ベースのライセンス認証を行うことができます。

System Center 2012 R2 ライセンス ガイド

- ▶ **キー管理サービス (KMS):** KMS はロール サービスです。組織は KMS ホストがインストールされているサーバーから、ネットワーク内のシステムのライセンス認証を行うことができます。IT 担当者は KMS を使用することにより、ローカル ネットワークでライセンス認証を行うことができます。このため、製品のライセンス認証を行うために、個々のコンピューターをマイクロソフトに接続する必要はありません。KMS には専用のシステムは必要なく、他のサービスを提供するシステムをホストとして利用できます。既定では、Windows 8 以降および Windows Server 2012 以降のボリューム エディションは、KMS サービスをホストするシステムに接続して、ライセンス認証要求を行います。このときユーザーによる介入は不要です。
- ▶ **Active Directory ベースのライセンス認証:** Active Directory ベースのライセンス認証は、Active Directory Domain Services (AD DS) を使用して、ライセンス認証オブジェクトを保存できるようにするロール サービスです。これにより、ネットワークのボリューム ライセンス認証サービスの管理作業がさらに簡単になります。Active Directory ベースのライセンス認証には、追加のホスト サーバーは必要なく、ライセンス認証要求はコンピューターの起動時に処理されます。

ドメインに接続している汎用ボリューム ライセンス キー (GVLK) を使用して Windows 8 以降および Windows Server 2012 以降を実行しているコンピューターのライセンス認証は、自動的かつ透過的に行われます。これらのライセンス認証は、ドメインのメンバーとして、ドメイン コントローラーと定期的に通信している限り有効です。ライセンス認証はライセンス サービスの開始後に行われます。サービスが開始されると、Windows 8 以降および Windows Server 2012 以降の RD を実行しているコンピューターは自動的に AD DS に接続し、ライセンス認証オブジェクトを受け取って、ユーザーの介入なしでライセンス認証を行います。

詳細については、[こちらの TechNet 記事](#)を参照してください。

よく寄せられる質問 (FAQ)

1. System Center 2012 R2 でのサーバー管理ライセンスの変更点を教えてください。

System Center 2012 R2 サーバー管理ライセンスは、System Center 2012 から変更されていません。

2. System Center 2012 R2 で提供される製品エディションについて教えてください。

System Center 2012 R2 サーバー管理ライセンスには、System Center 2012 の場合と同じく、仮想化の権利が異なる 2 つのエディションがあります。

- ▶ **Datacenter:** オペレーティング システム環境 (OSE) の数に制限がなく、クラウドの容量を最大限に活用できます。高密度のプライベート クラウドを実現します。
- ▶ **Standard:** 仮想化の比率が低いまたは仮想化されていないプライベート クラウド ワークロードを対象としています。

いずれのエディションでも管理できるワークロードの種類に違いはなく、異なるのは 1 つのライセンスで管理可能な OSE の数のみです。Datacenter エディションでは、ライセンス 1 つで管理できる OSE の数に制限はありません。Standard エディションでは、ライセンス 1 つで最大 2 つの OSE を管理できます。

3. 必要なサーバー管理ライセンス (ML) の数はどのように決定すればよいでしょうか。

サーバー ML は、サーバー OSE を実行する管理対象デバイスごとに必要です。ライセンスはプロセッサ ベースで、各ライセンスが最大 2 基の物理プロセッサに対応します。Datacenter エディションの場合、管理対象デバイスあたりの必要なサーバー ML の数は、サーバー内の物理プロセッサ数で決まります。Standard エディションの場合、サーバー内の物理プロセッサ数または管理対象の OSE の数のどちらか多いほうになります。

▶ System Center 2012 R2 Datacenter

1 ライセンスにつき最大 2 物理プロセッサをカバーします。サーバー上の物理プロセッサ数を 2 で割り、小数第 1 位で四捨五入して整数にします。この値と同じ数のライセンスをサーバーに割り当てます。

必要な数の Datacenter エディションのサーバー管理ライセンスを購入してサーバーに割り当てることにより、このサーバー上であらゆる数の OSE を管理することができます。

▶ System Center 2012 R2 Standard

管理対象のサーバーごとに、物理プロセッサの数と管理対象の OSE の数を計算します。プロセッサ数と OSE 数のうち多いほうと同じ数のライセンスが必要になります。

System Center 2012 R2 ライセンス ガイド

プロセッサ数

管理対象の OSE 数

1 ライセンスにつき最大 2 物理プロセッサをカバーします。したがって、サーバー上の物理プロセッサ数を 2 で割り、小数第 1 位で四捨五入して整数にします。

1 ライセンスにつき最大 2 つの OSE を管理できます。したがって、サーバー上の管理対象の OSE の数を 2 で割り、小数第 1 位で四捨五入して整数にします。*

*サーバー上の物理 OSE を、ハードウェア仮想化ソフトウェアの実行、ハードウェア仮想化サービスの提供、ソフトウェアによるデバイス上の OSE の管理に使用する場合は例外です。この場合、サーバー上の管理対象の仮想 OSE の数を 2 で割り、小数第 1 位で四捨五入して整数にします。

例:

	必要な Datacenter サーバー ML 数	必要な Standard サーバー ML 数
仮想化されていない 1 プロセッサ サーバー x 1	1	1
仮想化されていない 4 プロセッサ サーバー x 1	2	2
3 つの仮想 OSE が稼働する 2 プロセッサ サーバー x 1	1	2*
8 つの仮想 OSE が稼働する 4 プロセッサ サーバー x 1	2	4*

4. System Center 2012 R2 サーバー管理ライセンス コンポーネントを別々に購入することはできますか。

いいえ。System Center 2012 R2 サーバー管理コンポーネントは、プライベート クラウド環境を作成および管理する統合サービスに含まれており、System Center 2012 R2 Standard または System Center Datacenter ML の一部としてのみ入手可能です。

5. System Center 2012 R2 サーバー ML を複数のサーバーで分割することはできますか。

いいえ。1 つのサーバー ML を 2 台の 1 プロセッサ サーバーで使用することはできません。

6. 同じサーバーに複数の System Center 2012 R2 Standard ライセンスを割り当てて、管理対象の OSE の数を増やすことはできますか。

はい。ホスト 1 台あたりの VM 数が 7 のときが、System Center 2012 R2 Datacenter に移行する損益分岐点になります。

7. サーバー ML の料金を教えてください。

マイクロソフト ボリューム ライセンス Open License No Level (NL) の米国内推定小売価格 (ERP) は、System Center 2012 R2 Standard の場合で 1,323 米ドル、System Center 2012 R2 Datacenter の場合で 3,607 米ドルになります。具体的な価格については、マイクロソフト販売代理店にお問い合わせください。実際の価格は異なる場合があります。販売代理店から購入する場合、ライセンスの価格や支払い条件は販売代理店が決定します。

8. サーバー ML を拡張して、パブリック クラウド上で稼働するアプリケーションを管理することはできますか。

はい。ソフトウェア アシユアランスによるライセンス モビリティ特典を利用して、サーバー ML を割り当て、パブリック クラウド インフラストラクチャで稼働するアプリケーションを管理することができます。System Center 2012 R2 Standard ライセンスでは、1 パブリック クラウドあたり 2 つの仮想 OSE を管理できます。System Center 2012 R2 Datacenter ライセンスでは、1 パブリック クラウドあたり最大 8 つの仮想 OSE を管理できます。Azure 上で稼働するアプリケーションを管理する場合、各 Azure インスタンスが仮想 OSE 1 つと見なされます。詳細については、『[ソフトウェア アシユアランスによるライセンス モビリティ - お客様向けのライセンス ガイド](#)』を参照してください。

System Center 2012 R2 ライセンス ガイド

詳細情報

- ▶ System Center のライセンス情報: <http://www.microsoft.com/ja-jp/licensing/product-licensing/system-center-2012-r2.aspx>
- ▶ マイクロソフト ボリューム ライセンス Web サイト: <http://www.microsoft.com/ja-jp/licensing/default.aspx>
- ▶ ボリューム ライセンス サービス センター (VLSC): <http://www.microsoft.com/licensing/servicecenter/>
- ▶ Microsoft License Advisor: <http://mla.microsoft.com/>
- ▶ ボリューム ライセンス認証情報: <http://www.microsoft.com/ja-jp/licensing/existing-customer/product-activation.aspx>

© 2015 Microsoft Corporation. All rights reserved.

このドキュメントに記載された内容は情報の提供のみを目的としています。明示または黙示にかかわらず、この内容に関してマイクロソフトはいかなる責任も負わないものとします。この情報はライセンスを受けた製品を正しくご使用いただくためのガイドであり、お客様との契約ではありません。ボリューム ライセンス契約に基づきライセンスを受けた製品の使用については、当該契約に定める契約条件に規定されます。この情報と契約の間に齟齬がある場合は、契約の条項が優先されます。マイクロソフト販売代理店を通じて取得するライセンスの価格は、販売代理店によって決定されます。